

VANESSA REDGRAVE
VIRGINIA WOOLF'S

MRS. DALLOWAY

A FILM BY MARLEEN GORRIS



アカデミー受賞女優

イギリスの天才女性作家

名作「アントニア」の

ヴァネッサ・レッドグレイヴ主演 ◆ ヴァージニア・ウルフ原作 ◆ マルレーン・ゴリス監督

ダロウェイ夫人

青春の日々、老いも死も、過ぎゆく時の輝きのなかに。

— 6月のある晴れた日、ロンドン、ひとりの女性が見つめる人生の真実。 —



ヴァネッサ・レッドグレイヴ
ナタシーヤ・マツケルホーン ルバート・グレイヴス マイケル・キッチン
アラン・コックス リナ・ヘディアー アメリカ・ブルモア

製作補/ポール・フリフト 衣装/ジュディ・ベッパード・タイン 美術監督/デイヴィッド・
リチエンス 音楽/イロナ・セカス 編集/ミハエル・ライヒヴァイン 撮影監督/スー・
ギブソン 製作総指揮/クリス・小ホール ウィリアム・タイラー サイモン・カーティス
ビル・シェパード 共同製作/ハンス・デ・ウェールス 脚本/アイリーン・アトキンス
原作/ヴァージニア・ウルフ (集英社刊) 製作/ステファン・ペイリー リサ・カテラ・ハル
監督/マルレーン・ゴリス

FIRST LOOK PICTURES PRESENTS A BAYLY/PARE PRODUCTION OF A MARLEEN
GORRIS FILM IN ASSOCIATION WITH BERGEN FILM A NEWMARKET CAPITAL
GROUP AND BBC FILMS PRESENTATION WITH THE PARTICIPATION OF THE
EUROPEAN CO-PRODUCTION FUND UK NPS TELEVISION DUTCH CO-PRODUCTION
FUND(COBO) AND THE DUTCH FILM FUND*

1997年イギリス・オランダ合作/カラー/ヴィスタサイズ
配給: 日本ヘラルド映画



MRS. DALLOWAY

ダロウェイ夫人

1997年イギリス・オランダ合作
カラー/ヴィスタサイズ DD (Dolby) SR
配給：日本ヘラルド映画

●作家ヴァージニア・ウルフの繊細で奥深い文学世界。

「ダロウェイ夫人」は、20世紀を代表する女性作家ヴァージニア・ウルフ(1882-1941)の同名小説を映画化した作品である。「アントニア」(95)でアカデミー外国語映画賞を受賞したマルレーン・ゴリス監督、名女優ヴァネッサ・レッドグレイヴ、その他、近年、ウルフの紹介に努めてきた脚本のアイリーン・アトキンスなど、この作品に関して現在考えられる最高のスタッフ・キャストが力を合わせて製作にあたった。この作品には天才作家ウルフに対する、彼女たちの心からの尊敬と愛情がこめられている。

原作は、ウルフが1925年に発表した、彼女の本質を最も表わす作品といわれている。老いや死を意識しはじめた女性の心の移ろいをおして、生の歓びと死への憧れがひとつのものとして描かれ、人生の真実が女性の視点で鮮やかに浮き彫りにされる。映画でも、ゴリス監督は、ヴィクトリア朝末期の華麗な上流社会、1920年代初頭のロンドンの街の表情を再現し、レッドグレイヴの素晴らしい演技をえて、映画化が困難といわれた繊細で奥深いウルフの世界をあますことなく伝えている。

●ダロウェイ夫人の一日に投影される、人生の歓び、悲しみ。

第一次世界大戦終了から5年後のロンドン、1923年6月のある晴れた朝、国会議員夫人クラリッサ・ダロウェイが、自宅で催す夜会のために花を買いにでかける。街を歩きながらクラリッサは、30年前の輝くような青春の日々を振り返り、ロマンティックなピーターとの波瀾に富んだ人生ではなく、政治家リチャードとの平穏な人生を選んだことが正しかったかと自問をする。彼女は50歳を過ぎ、病気をしてから、人生に不安を感じるようになっていた。

華やかな夜会で、クラリッサはピーターや若き日の友人サリーとの再会を喜びながらも、一度も出会ったことのない青年セプティマスの死を知り衝撃を受ける。セプティマスは戦場で心に深い傷を負い、夕刻に自殺をとげたという。クラリッサは彼の生き方の純粋さに共感し、さらに老いと死の恐れをこえて、人生を美しいものとして受け入れていく…。



●最高のスタッフ・キャストによる完全映画化!

ダロウェイ夫人を演じたヴァネッサ・レッドグレイヴは世界で最も優れた女優のひとり。「裸足のイサドラ」(68)でカンヌ国際映画祭最優秀女優賞、「ジュリア」(77)でアカデミー賞助演女優賞など多数の賞に輝く。レッドグレイヴは、ウルフを描く舞台劇「ヴィタとヴァージニア」に出演して以来、ウルフの世界に魅せられる。「ダロウェイ夫人」の脚本は、レッドグレイヴを念頭において書かれた。ダロウェイ夫人に深い影響を与えるセプティマスを演じたルパート・グレイヴスは、ジェームズ・アイボリー監督の「眺めのいい部屋」(86)でデビュー。その後「モーリス」(87)など、彼の個性的な演技は世界で高く評価されている。

マルレーン・ゴリス監督は、オランダを代表する女性監督である。これまで一貫して女性の視点で人間と社会を見つめてきたが、オランダの田園を舞台にした「アントニア」の後、本作では一転して、大都会ロンドンを舞台に文学の世界に取り組んだ。(上映時間1時間37分)

9月上旬待望のロードショー!

(上映日程は劇場にお問合せ下さい。)

前売鑑賞券絶賛発売中! 一般1,500円(当日一般)

※チケットぴあ、ローソン、主要プレイガイド他にて発売中!

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(440)5977

梅田 ガーデンシネマ

土日祝のみ10:25 12:30 2:35 4:40 6:45 (入替制)

